琉球大学発の
RYUKYUS
COFFEE
ENERGY
ベンチャー企業



Company Policy

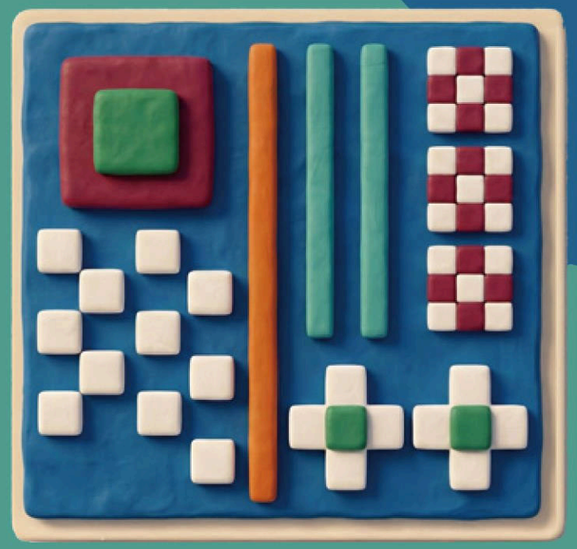
利益の先に、社会を耕す

Beyond Profit, We Cultivate Society.

RYUKYUS
COFFEE
ENERGY
GROUP

support@ryukyus-coffee-energy.eco

〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町1番地　琉球大学 産学官連携棟204-1



RYUKYUS COFFEE ENERGY

ブランドガイドブック

Company Policy

利益の先に、社会を耕す

Beyond Profit, We Cultivate Society.

STORY

それは、琉球コーヒーの物語。





**私たちは、南城市を拠点に栽培
研究、教育、商品開発、観光を、
一体で育てるグループです。**



琉球コーヒーエナジーは、南城市・百名の地から始まり、
糸数城跡を望む丘でスマートハウスとして形を表します。

はるか昔、海のかなた「ニライカナイ」からアマミキヨが降り立ち、
森をひらき、土を耕し、命の根を植えた——それが沖縄のはじまりの物語です。

南城市・垣花樋川の清らかな水は、琉球王国の時代から今も人々を潤し、
森を育み、新たな命を生み続けています。

その水脈に寄り添う百名の丘で、風と光、豊かな土に抱かれながら、
新しい芽が静かに育ち始めました。糸数城跡を背に受け継ぐ歴史と自然の記憶が、
未来へつながる「琉球コーヒーの物語」として今、幕を開けるのです。

南城市に流れる清らかな水と、この土地に息づく自然・文化。
私たちはこの地を起点に、コーヒーを軸とした新しい地域産業を育てています。

それは単なる栽培事業ではありません。
農業、研究、教育、商品開発、観光をひとつの循環として結び、
地域に雇用と学びを生み、沖縄からアジアへ価値を広げる挑戦です。

RYUKYUS COFFEE ENERGY GROUP は、
この構想を実装するための統括ブランドとして、
各事業を連携させながら持続可能な地域モデルを形にしていきます。

RYUKYUS COFFEE ENERGY GROUP

この島の陽ざしと風、そして清らかな水に抱かれて、
一粒のコーヒーの種が芽を出しました。

それは、ただの植物ではありません。
人と土地の想いが重なり合い、ゆっくりと、確かに根を張っていく——
“新しい産業”の芽吹きです。

南城市の自然と文化が育む、島のコーヒー。
その可能性を、私たちは栽培だけで終わらせません。

未来を耕す **農業**

人を育てる **教育**

恵みを届ける **商品・観光**

これらを一体で育てることで、南城市から、
持続可能で誇りある産業のかたちをつくっていきます。



ABOUT

Chapter 1

Smart Agriculture and Circular Systems

第一章　未来を耕す

スマート農業と循環型生産基盤

農業用ハウス、環境制御、AI、ロボット技術を活用し、
省人化・効率化された次世代型コーヒー栽培を確立する。

1 スマートハウスによる持続可能な栽培基盤

沖縄の気候・土壌・水資源を活かしながら、
農業用ハウス、環境制御、灌水制御、AI、センサー、
ロボット技術を組み合わせ、
コーヒー栽培の省人化・効率化・高品質化を実現する
生産基盤を構築します。



2 AI・IoTを活用したコーヒー専用の栽培管理

温湿度、日射、水分量などの環境データを取得し、
栽培を見える化。
品質・収量・作業効率の向上を支える
スマート農業を実装します。



3 資源循環と地域連携による持続可能な農業

コーヒー果皮や副産物の活用、
地域資源との連携を通じて、
廃棄物を価値に変える
循環型の農業モデルを構築します。



第二章　人を育てる

学びと資格の拠点づくり

SCA・CVA などの国際資格に対応し、
栽培・精製・加工・焙煎・カッピング・ドリップまでを一貫して学ぶ教育拠点をつくる

1 大学連携による実践的な学びの場

琉球大学をはじめとする教育機関と連携し、
栽培・加工・評価・経営を横断して学べる
実践型プログラムを整備します。



2 国際資格取得とキャリア形成支援

SCA・CVAなどの国際資格に対応し、
栽培・精製・加工・焙煎・カッピング・ドリップまでを
一貫して学ぶ、実践型のコーヒー教育拠点を整備します。



3 社会人教育と地域内人材循環

観光・飲食・農業分野の実務者が学び直し、
地域で働き、地域に還元する
循環型の人材育成モデルを目指します。

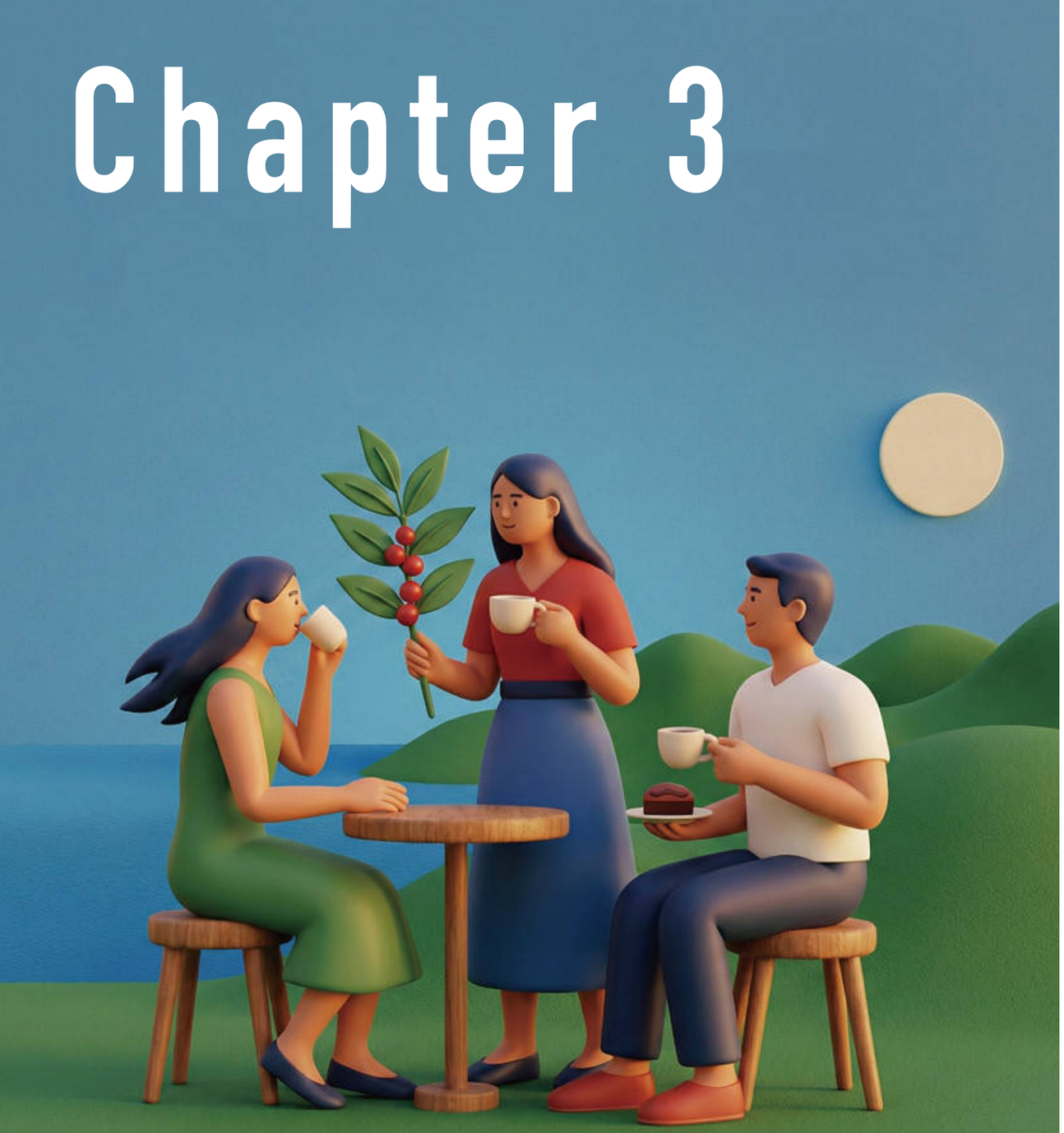


Chapter 2



Establishing a Hub for Learning and Professional Development

Chapter 3



Connecting Products, Experiences, and Tourism

第三章　恵みを届ける

商品・体験・流通のブランド展開

沖縄産コーヒーを核に、ビール、菓子、飲料、体験、観光を結び、
地域の恵みを国内外へ届ける。

1 沖縄発コーヒープロダクトの開発

豆、ドリップ、飲料、加工品など、多彩な商品群を通じて、
沖縄ならではのコーヒー価値を日常へ届けます。



2 南城市で味わう体験価値の創出

農園見学、焙煎体験、カッピング、地域ツアーなど、
学びと観光を融合した体験コンテンツを展開します。



3 ホテル・百貨店・県外市場への流通連携

高付加価値商品の販路を広げ、
南城市発ブランドの認知を
県内外・海外へ高めていきます。





Why We Chose This Place

RYUKYU COFFEE の拠点

私たちが南城市を拠点に選んだのは、この地に流れる水と、
人の営みが育んできた風土に可能性を感じたからです。

ここでは、コーヒーの栽培だけでなく、研究、教育、商品開発、
観光体験までを一体で育てることができます。

南城市は、RYUKYUS COFFEE ENERGY GROUP にとって
単なる生産地ではなく、ブランドの思想と実践が交わる中核拠点です。

この場所から、沖縄に新しい産業の形をつくり、
やがてアジアへとつながる広がりを生み出していきます。

A COFFEE HUB FOR ASIA



沖縄からアジアへ

国際連携で広がるネットワーク

沖縄・南城市を起点に始まった私たちの挑戦は、
栽培、教育、商品、観光を通じて、
アジアへ広がる可能性を持っています。

亜熱帯という立地、大学との連携、国際資格への接続、
そして地域資源を活かした実証フィールド。
これらを組み合わせることで、
沖縄ならではのコーヒー産業モデルを築いていきます。

私たちが目指すのは、単なる産地づくりではありません。
「学ぶ」「つくる」「味わう」「訪れる」が循環する、
アジア型コーヒー産業の新しい拠点です。





南城市と歩む、コーヒーの道

技術の先にあるのは、人と地域の未来です。

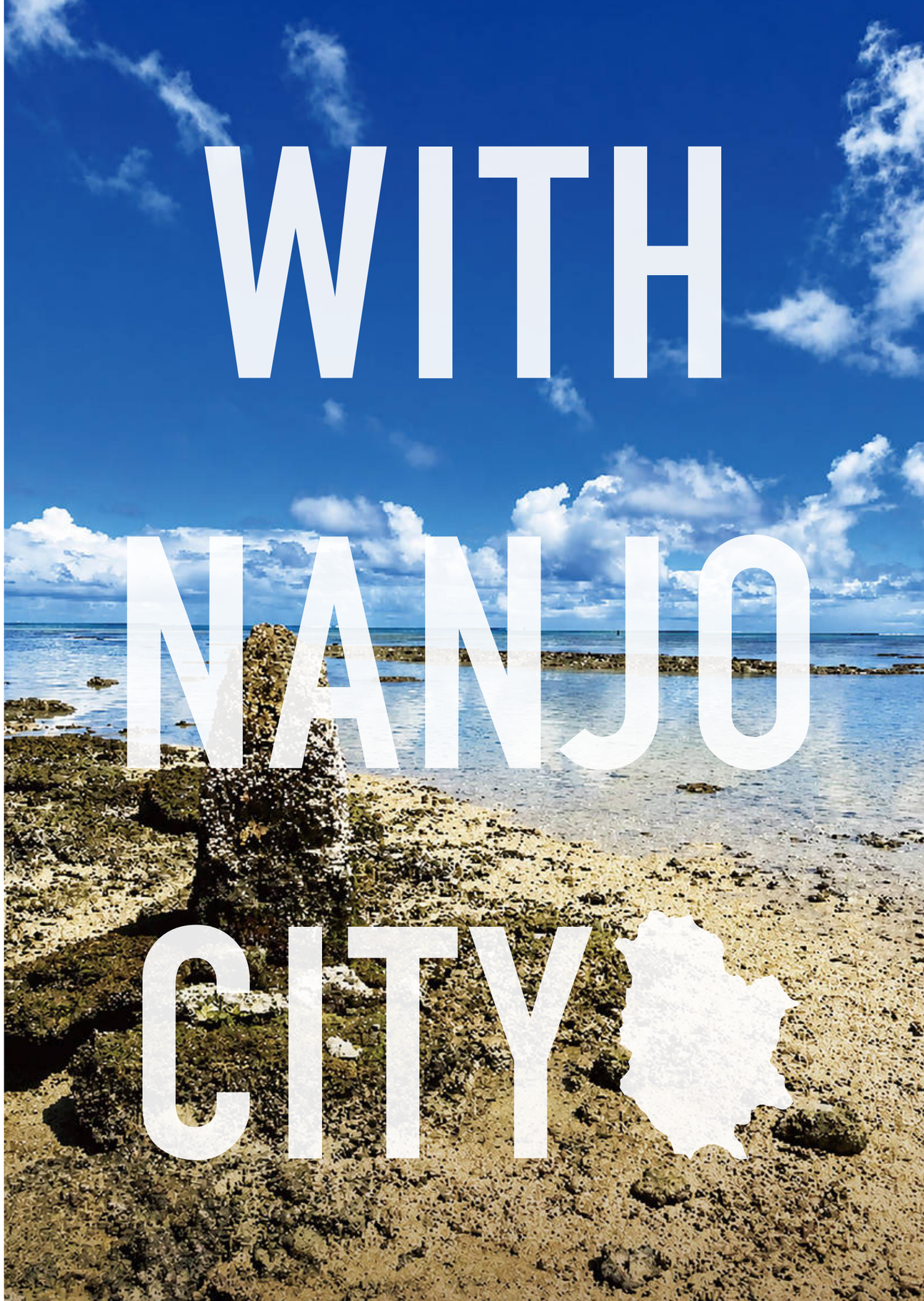
私たちが取り組んでいるのは、
コーヒーを育てることだけではありません。
この土地の自然と人の営みを活かしながら、
新しい産業を育て、学びを生み、地域に誇りを取り戻していくことです。

南城市には、水があります。風土があります。
そして、未来をつくる可能性があります。

RYUKYUS COFFEE ENERGY GROUPは、
栽培、研究、教育、商品開発、観光をひとつにつなぎ、
沖縄からアジアへ広がる持続可能なコーヒー産業モデルを実装していきます。

技術は、そのための手段です。
本当に大切なのは、この地に新しい価値と仕事を残していくこと。

私たちは、南城市からその挑戦を始めています。



Message from the Founder

代表の思い



代表　高木

RYUKYUS COFFEE ENERGY GROUPは、
沖縄・南城市百名という、
自然豊かで静かな土地から生まれた会社です。
ここ百名は、琉球神話の女神アマミキヨが降り立ち、
国づくりを始めたと言われる“はじまりの場所”。
私たちはこの土地に魅せられ、
この場所から未来のコーヒーづくりを始めたいと考えました。

コーヒーは、世界中の人に愛されている飲みもの。
けれどその背景には、気候変動の影響や貧困、森林伐採など、たくさんの課題が潜んでいます。
私たちはそんな現実に向き合いながら、
「コーヒーで人や地域を元気にする」新しい農業の形をつくりたいと思ったのです。

沖縄のあたたかな気候とやさしい風を活かして、木のぬくもりあるハウスでコーヒーを育てる。
AIやスマート農業の技術も使いながら、丁寧に、持続可能な方法で栽培しています。
さらに、これまで捨てられていた果肉の部分は、
“コーヒーチェリービール” という新しいお酒に生まれ変わりました。
自然の恵みを無駄にしない。そんな小さな工夫を重ねています。

また、この場所では、農業の学びや観光の受け入れも進めています。
子どもも大人も、世界の人たちも、
この沖縄で「コーヒーを通してつながる」体験をしてほしいと願っています。

「小さな島の、小さな農園から、世界を少しだけやさしくする」
それが、琉球コーヒーエナジーの挑戦です。
自然に寄り添い、人に寄り添いながら、コーヒーを通して新しい未来を育てていきます。

RYUKYUS COFFEE ENERGY GROUP

RYUKYUS COFFEE ENERGY GROUPは、
「琉球コーヒーエナジー」と「琉球コーヒービール」の
二つの事業を軸に構成された企業体です。

琉球コーヒーエナジーでは、
沖縄という土地において、コーヒーをどのように育て、
どのように未来へつないでいくかをテーマに、
スマート農業を取り入れた循環型の仕組みづくりを支えています。
生産環境・技術・人を結び、
持続可能なコーヒー栽培の可能性を国内から広げていく取り組みです。

一方、琉球コーヒービールでは、
沖縄発のコーヒープロダクトとして、
コーヒーの新しい楽しみ方や価値を提案する商品開発・展開を行っています。
土地の個性や文化を背景に、
コーヒーを軸とした多様な表現をかたちにしています。

私たちは、生産からプロダクト、そして体験へとつながる流れを大切にしながら、
コーヒーの可能性をひらく土台をつくり続けています。
これからも分野や形にとらわれず、
新しい挑戦と展開が生まれていく余地を持った企業でありたいと考えています。

RYUKYUS COFFEE ENERGY



本社
〒901-0603
沖縄県南城市玉城百名 1147
コーボ百名 403



研究所
〒903-0129
沖縄県中頭郡西原町千原1番地
琉球大学産学官連携棟204-1

https://ryukyus-coffee-energy.eco/

RYUKYUS COFFEE BEER



醸造所-ブルワリー
〒901-0603
沖縄県南城市玉城百名1128-1



琉球コーヒービールの直営店
BeerBar Hanajii
〒902-0066
沖縄県那覇市大道172-31

https://cherrybeer.theshop.jp/

琉球コーヒーエナジーは、琉球大学発のベンチャー企業として、
沖縄・南城市を拠点にコーヒーを軸とした新たな地域産業づくりに取り組んでいます。